

## 報告事項（１）

### 令和２年度事業計画（案）について

#### 基本方針

本県の観光を取り巻く状況は、北海道新幹線開業による高速交通体系の充実、青森・台北間の国際定期便や、青森・神戸空港の定期便の就航など、これまでの関係者の取組が実を結び、新たなステージを迎えている。

加えて、東京オリンピック・パラリンピックの開催や2021年の東北6県ステーションキャンペーン（以下「東北6県DC」）を控え、国内外に情報を発信する好機となっており、本県が旅の目的地として選ばれるよう、観光コンテンツの開発や磨き上げ・おもてなしなど、より一層地域の魅力づくりに取り組む必要がある。

一方、インバウンドも含めた観光消費に繋がる地域づくりや稼ぐ力の向上、生産性の改善などの課題があることから、これらの課題解決に向けて、平成29年に策定した「観光連盟イノベーションプラン」のもと、日本版DMOとして引き続き施策を展開していく。

第一に、各地域の現場力を高め、稼ぐ力の向上を図るため、観光開発チームを中心に、自治体、観光関係団体、観光事業者等と連携・協働のうえ、東北6県DCを視野に入れながら、国内旅行客はもとより、インバウンド・コンベンション・教育旅行など様々なテーマに合わせた観光資源の磨き上げ等による地域の魅力づくりや観光周遊ルート作り、旅行商品の造成・販売を含めた稼ぐ力の向上に取り組む。

第二に、東北6県DCを見据えた意識醸成を図りながら、イベントやガイドブック等での情報発信に加え、旅行客の大半を占める個人旅行客を中心に、リアルタイムの情報発信を図るための施策を継続して実施する。

第三に、国際定期路線が開設されている台湾・韓国をはじめとする東アジアを中心とした誘致活動のほか、今後増加が見込まれる英語圏の旅行客をターゲットとした周遊旅行商品の開発を進めるほか、インバウンド受入対応力の強化と満足度向上を図るため、「あおりグローバルラウンジ」を拠点として、多言語による観光案内を継続して実施する。

第四に、人財育成を図るため、民間企業等と連携し、観光開発チームでの活動等を通じ、観光連盟プロパー職員や市町村・地域観光団体職員等のスキル向上を図る。

また、観光連盟の財務状況の健全化を図るため、会議室やイベントスペース及び駐車場の増収に向けた営業活動、コンセプトを明確化したイベントの実施による来館者の満足度向上とリピーターの増加、周遊旅行商品の販売促進による旅行業分野の収益向上等により、経営基盤の強化を図っていく。

なお、今般の新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外から多くの旅行キャンセルが続いているが、今後も業界をあげて、ウイルスの感染拡大防止に万全を期すとともに、終息後は、県・関係団体等と十分な連携をしながら、観光需要喚起の取組を速やかに行っていくものとする。

## 〔公益目的事業〕

### 1 観光振興事業

#### (1) 開発推進事業

自治体、観光関係団体、観光事業者等と連携しながら、観光開発チームを中心に、インバウンド・コンベンション・教育旅行など、様々なテーマに合わせた観光資源の磨き上げ等による魅力づくりや、県内観光産業の体質強化・観光周遊ルートづくりに取り組む。

##### ① 観光開発推進事業（国補助事業）

インバウンドや国内旅行者に対して、より魅力的な観光コンテンツを提供するため、関係自治体、観光団体、観光事業者等と協働で観光コンテンツの発掘と磨き上げを行っていく。

またインバウンドに精通した旅行会社等を活用し、県内各所での体験や宿泊を伴う周遊観光を促進するための旅行商品企画を創出するとともに、各地域にある観光・体験素材を取り入れたプログラムや周遊旅行商品を多言語化し、当連盟のホームページ内に掲載PRのうえ、予約システムを導入して販売を促進するとともに、インバウンド客に選好される旅行商品のマーケティングを実施する。

また、インバウンド旅行客の満足度向上のため、県内観光事業者等のおもてなし力向上を図る。

併せて、ランドオペレーターとの連携による海外への発信及び東京オリンピック・パラリンピックの機会を生かした本県の認知度向上に向けたPRを行い、来訪者の増加及び観光消費の拡大による地域振興を図る。

#### ア 県内観光コンテンツ発掘調査

県内観光資源の発掘及び磨き上げ作業を市町村等と連携して取り組み、観光コンテンツの充実及びブラッシュアップを図る。

#### イ 旅行商品企画の創出

観光資源の発掘・磨き上げに合わせ、インバウンドに精通した旅行会社等を通じ、本県の特徴を整理・分析しながら、他道県と差別化された周遊型旅行商品企画の創出に繋げていく。

#### ウ ホームページの多言語化・予約決済システムの導入

当連盟ホームページ内の体験・周遊プログラムページを多言語化し、予約システム等の整備を行い、インバウンド向けに創出されたプログラムや旅行商品のPR及び販売促進を図る。

#### エ 当連盟ホームページに掲載・販売するインバウンド旅行者向け旅行商

- 品のデータ分析を実施し、言語別顧客の傾向を把握し以降の旅行商品のブラッシュアップ等を図る。
- オ インバウンド観光客向けのおもてなし力の向上を図るため、県内観光事業者等にコンサルタントを派遣し、課題等を抽出しながら、具体的なアドバイスをを行う。
- カ ランドオペレーターとの連携による情報発信  
より多くのインバウンド旅行者が当連盟のホームページを閲覧する流れを作るため、ランドオペレーターによる当県への視察や情報提供を実施し、ランドオペレーターから海外旅行会社へ情報発信を行う。
- キ 東京オリンピック・パラリンピックの機会を活かした PR  
東北エリアと連携した情報発信に取り組む。

② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行うほか、魅力向上を図るための普及を行う。

③ テーマ別観光資源魅力向上事業

(むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業)

県内滞在及び旅行消費の促進を図るための企画を創出する。

④ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施する。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

教育旅行誘致に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

- ◆時 期 年 3 回 (5・11・3 月) (予定)
- ◆場 所 青森市 (青森県観光物産館アスパム)

イ 教育旅行促進強化事業 (県委託事業)

(ア) 教育旅行誘致資料の作成等

- ・あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配付
- ・青森県教育旅行ホームページのデータ更新

(イ) 教育旅行受入状況調査の実施

- ・県内宿泊施設に対する調査

(ウ) 学校関係者・教育旅行エージェントに対する情報提供

【首都圏対策】

- ・教育旅行エージェントキャラバンの実施
- ・東北教育旅行事例発表会、教育旅行シンポジウム、全国修学旅行研究大会への参加

【北海道対策】

- ・教育旅行エージェント等キャラバンの実施
- (エ) 教育旅行現地視察会の開催
  - ・学校関係者現地視察会及び県内観光事業者との商談会の実施

⑤ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開する。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

コンベンション誘致に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

- ◆時 期 年 2 回 (5・11 月) (予定)
- ◆場 所 青森市 (青森県観光物産館アスパム)

イ あおもり M I C E 誘致活動事業 (県補助事業)

- (ア) コンベンション誘致活動の実施
- (イ) ユニークベニュー (特別企画) の創出
- (ウ) 国際 M I C E エキスポ ( I M E ) への出展等

ウ 大規模 M I C E 開催費助成事業 (県補助事業)

県外からの延宿泊者数 100 人以上のコンベンションに対する開催費を助成する。

(2) 情報発信事業

関係機関と連携した県内外イベントへの参画やガイドブックの作成等の P R を行うほか、 I T 技術等を活用しながらターゲットに合わせた効果的かつ効率的なプロモーション活動を通じた情報発信を展開する。

① 東北 DC 青函推進委員会事務局

2021 年 4 月～9 月までの 6 ヶ月間実施される、東北 6 県 DC (道南地域含む) の本県事務局を担う。

東北全域エリアと総括する事務局は東北観光推進機構が担うこととしており、青森県とともに「青森県部会」を構成する位置づけで、本県独自に行う事業の推進母体となる。

- ア 東北 DC 青函推進委員会の設立・総会の開催
- イ 全国宣伝販売会議 (令和 2 年 6 月 2 日) の準備・運営補助
- ウ 地域連絡会議の開催
- エ 青森県独自のエキスカーションの実施
- オ 青森県独自の着地型ガイドブック等の制作

- カ 青森県内を周遊させる企画の実施
- キ ポスター・掲示物の制作
- ク 各種プロモーション
- ケ 観光資源のブラッシュアップ、受入意識醸成等

## ② 観光キャンペーン推進事業

北海道新幹線開業や青森県・函館デスティネーションキャンペーン（以下「青函DC」）の効果を持続させ、本県を中心とした周遊観光を促進するため、JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等と連携し、観光ガイドブックの配布や、首都圏等における各種観光等イベントへの参画を通じて本県観光資源の魅力を全国にPRし、一層の誘客促進を図る。

### ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

本県観光を効果的にアピールするため「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命し、各種観光キャンペーンイベント等に派遣する。

### イ 観光イベントガイドブックの作成

本県へのより一層の観光客誘致促進、観光消費額の拡大を図るため、県内の自然や食、温泉、祭り等旬の観光情報を紹介する「あおもり紀行イベントガイドブック」（以下「あおもり紀行」と言う）を作成し、本県の魅力を幅広くPRする。

- （ア）「あおもり紀行」2020 夏・秋号 2020 年 5 月頃  
13 万部＋電子書籍版
- （イ）「あおもり紀行」2021 冬・春号 2020 年 10 月頃  
13 万部＋電子書籍版

### ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

「リゾートしらかみ」が運行されているJR五能線沿線及び陸奥湾沿線の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレット等の作成により誘客促進を図る。

### エ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し積極的に協力する。

### オ 観光イベント等への参画

JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、

首都圏等で開催される観光イベント等に参画し、観光コーナーの設置、  
あおり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行う。

【参画予定の主なイベント】

- (ア) 大宮鉄道ふれあいフェア（首都圏 5月頃）
- (イ) 「夏の旅」観光展（首都圏 7月頃）
- (ウ) ハイウェイフェスタとうほく（仙台市 9月）
- (エ) 池袋鉄道まつり（首都圏 11月頃）
- (オ) 「冬の旅」観光展（首都圏 12月頃）

カ 青森県観光セミナーの開催

首都圏からの誘客を強かに促進するため、県と共同で旅行エージェント  
ト等を対象とした観光セミナーを開催し、本県観光PRや商談会により、  
旅行エージェントにおける本県向け旅行商品の造成促進等に繋げる。

- ◆時 期 10月頃（予定）
- ◆開催場所 東京都内（予定）

キ 旅行商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機  
関と連携を図り、旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観  
光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供し、旅行商品  
の造成を強かに促進する。

③ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業（県委託事業）

北海道新幹線開業及び青函DCの効果継続し、青函周遊観光を定着さ  
せるため、JR東日本等と連動したプロモーション活動を実施し、更なる  
認知度向上と誘客促進を図る。

ア PRイベントの実施・参加

青森県及び北海道道南地域を巡る周遊観光の魅力を幅広くPRするた  
め、観光イベントを実施するほか、各種イベントに参画する。

- ◆時 期 2020年5月～2021年3月（予定）
- ◆場 所 首都圏などの主要交通拠点等

イ 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施

青森県と北海道道南地域を巡る青函周遊旅行商品の販売による誘客を  
促進するため、観光関係団体や観光事業者等と連携して観光キャラバン

を派遣し、PR活動を実施する。

- ◆時期 2020年5月～6月頃（予定）
- ◆場所 首都圏ほか（予定）

オ 博多どんたく港まつりにおけるPR

九州圏からの誘客を促進するため、博多どんたく港まつりステージ等に参画し、観光資源及び周遊観光の魅力をPRする。

- ◆時期 2020年5月（予定）
- ◆場所 福岡県福岡市
- ◆内容 観光PR、郷土芸能披露等

④ 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行う。

⑤ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図る。

（3）インバウンド対策事業

台湾・中国・韓国・香港を中心とした東アジアからの誘致活動を展開するほか、受入意識・サービス向上など受入対応力を強化していくことにより、来訪者の満足度向上及び観光消費の拡大に努める。

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された国内外の観光客に対し、くつろいでいただきながら、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営する。

- ◆場所 青森県観光物産館アスパム2F 市町村ホール内
- ◆内容

ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内

イ チャット機能による多言語観光案内

ウ SNSを活用した多言語による情報発信

エ ラウンジにおける飲料提供

- オ 多言語による観光PRパネル展示
- カ 県内周遊旅行商品の販売等

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

- ◆時 期 年2回（5・3月）（予定）
- ◆場 所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

③ 韓国誘客対策強化事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施する。

- ア 韓国旅行商品造成手配会社の招請
- イ 新規旅行商品等造成広告支援
- ウ FITエージェント及び大韓航空との共同プロモーション
- エ インセンティブツアー実施団体の招請
- オ インセンティブ商談会への出展PR

④ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業（県委託事業）

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画する。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

- ・設置場所 大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館7階
- ・運営主体 北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会
- ・構 成 員 北海道、青森県、岩手県、秋田県、（一社）北海道貿易物産振興会、（公社）青森県観光連盟、（公財）岩手県観光協会、（一社）秋田県観光連盟

イ 事業内容

- ・ホームページの運営（<http://www.beautifuljapan.or.kr>）
- ・観光事業各種（旅行商品造成支援、イベント出展PR、パンフレット作成、旅行エージェント招聘・商談会開催 等）
- ・物産事業各種（食品展示会出展、バイヤー招聘、ビジネス開拓支援）

⑤ 韓国現地商談会実施等事業（県委託事業）

韓国との経済交流を促進するため、物産商談会への出展PRやバイヤーの招聘により、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図る。

- ア 物産商談会への出展PR
- イ 韓国食品関連バイヤーの招聘
- ウ 北東北三県・北海道ソウル事務所と連携した、県内企業のビジネス開拓支援



⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

国際定期便や県外空港を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施するとともに、現地で行われる観光イベントに参加し、情報発信を行う。

ア 立体観光促進の支援

イ 台湾でのプロモーション活動（観光博出展、エージェント訪問など）

ウ 台湾での観光博出展に係る調整

⑦ 国際定期便対策事業（県委託事業）

青森空港発着の国際定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携し誘客宣伝事業等を実施する。

⑧ 台湾・韓国旅行会社等招請事業（県委託事業：県民生活文化課）

伝統芸能・文化・工芸品等をフックに、台湾・韓国への情報発信や誘客促進を図るため、旅行エージェントを招請し視察研修を行う。

（４）その他観光振興事業

① マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取り組みを継続する等、体系的なマーケティング活動を強化していくものである。

◆内 容 マーケティングに必要となる調査及び各事業の成果状況等の把握を通じた改善策の検討と反映

◆時 期

- ・2020年12月頃迄： 事業進捗等をふまえ、DMOとして定めた目標値（KPI）の達成状況を分析・検証し今後の方向性を整理
- ・2021年1月頃迄： 検証結果等はDMO構成員へメール等を通じ情報共有と共に意見聴取
- ・2021年3月頃迄： 検証結果等に対する意見を参考に改善策を検討。次年度の事業内容・予算に反映

◆目標値（KPI）

指標項目	単位	2017年 (実績)	2018年 (実績)	2019年 (目標)	2020年 (目標)	2021年 (目標)
●旅行消費額	億円	1,863 (86.8)	1,902 (161.1)	1,909 (112.7)	1,931 (128.5)	1,954 (146.5)
●延べ宿泊者数	万人泊	462 (26.0)	505 (29.6)	492 (34.0)	507 (38.0)	522 (42.0)
●来訪者満足度	%	99.5 (85.7)	99.6 (92.6)	100 (100)	100 (100)	100 (100)
●リピーター率	%	74.8 (46.8)	76.1 (38.1)	76.4 (54.7)	77.2 (55.5)	78.0 (56.3)

※括弧書きはインバウンドに関する目標値

② 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図る。

ア クリーン大作戦の実施

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切に、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を実施する。

- ◆時期 時期調整中
- ◆場所 青い海公園ほか

イ 観光ガイド推進連絡会議の開催

観光ガイドの推進に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため関係者による連絡会議を開催する。

- ◆時期 2020年6月（予定）
- ◆場所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

ウ 観光ガイド研修の実施

観光ガイド実務者を対象とした県内観光地におけるガイド研修を実施し、ガイド団体相互の情報交流、ガイドのスキルアップを図る。

- ◆時期 2020年10月（予定）
- ◆場所 青森県内

③ 観光案内所連携強化事業

県内観光案内所の連携による観光情報の共有及び観光案内体制の充実強化を図る。

ア 青森県内観光案内所連絡会議の開催

県内観光案内所間のネットワーク強化と情報共有を図り、観光客受

入体制をより一層充実させるため、観光案内所連絡会議を開催する。

- ◆時 期 2020年6月（予定）
- ◆場 所 青森市（青森県観光物産館アスパム）

イ 青森県内観光案内所スタッフ現地研修会の開催

県内観光案内所スタッフのスキルアップや観光情報の収集、観光案内所間の情報交換や共有、更なる観光客受入体制の整備を目的に現地研修会を開催する。

- ◆時 期 2020年11月（予定）
- ◆場 所 青森県内

ウ 東北の観光案内所のネットワーク化事業への参画（予定）

東北の観光案内所のネットワーク化事業へ参画し、チャットワークや、東北各地で開催されている研修会及び東北魅力説明会等を通じて、東北の各観光案内所相互の情報共有及び連携強化を図る。

④ 観光功労者表彰

観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰する。

⑤ 観光振興事業（県補助事業）

（公社）日本観光振興協会が全国的または重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出する。

⑥ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備、誘客促進及びPRに努める。

イ 東北観光推進機構の事業への参画（ブロック会議等出席）

東北観光推進機構に参加し、広域観光の推進を図る。

ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し

県内市町村等にイルミネーション及びライトアップ機材の貸し出しを行い滞在型観光及び冬季観光の振興を図り誘客を促進する。

## 2 青森県観光物産館管理運営事業

青森県観光物産館アスパムが青森県を代表する観光物産の拠点施設として、今後も国内外の観光客に訪問、満足していただくためには、インバウンド客や体験型コンテンツを求める国内客のニーズに的確に対応し、施設・コンテンツ等を大胆にリニューアルするなど、海外からも評価される施設として再生させていくことが不可欠であることから、あおりグローバルラウンジの活用により、インバウンド客の受入拠点を目指すとともに、日本最大の360度3Dデジタル映像シアターでの観光コンテンツの紹介や、地場セレクトでの多言語による地場産品紹介やスマートフォン決済機能の充実化を図る。

また、近年重要視されているナイトタイムエコノミーの活性化に資するため、県内で撮影されたタイムラプス映像を活用した「アスパム・スター・シアター」の上映、13階展望台の夜間営業、14階に入居する新たなテナントによる夜間営業などの取り組みを行うほか、好評を博しているクリスマスマーケット in アスパムなどの「コト消費」を意識した話題性の高いイベント等を実施することにより、来館者の満足度向上・リピーター確保を図る。

### (1) 観光資源紹介事業

#### ① 青い森ホール/360° 3Dデジタル映像シアター情報発信事業

##### ◆ 目的

令和元年7月27日にグランドオープンした青い森ホール/360° 3Dデジタル映像シアターにおいて、本県ならではの自然、歴史、文化等の美しさ、素晴らしさを体感できるデジタル映像を上映し、本県を訪れる外国人旅行者等にエンターテインメント性と臨場感溢れる3D映像と音響を体感いただき、本県の新たな魅力発見と県内周遊の広域化及び再来訪の「きっかけづくり」等、本県の魅力伝達の一層の促進を図る。

##### ◆ 内容

###### ア 上映時間

午前9時30分から午後5時15分まで

###### イ 映像コンテンツ

○AOMORI beautiful season “SPRING” (2D) 約8分

○AOMORI beautiful season “SUMMER” (2D) 約6分

○AOMORI beautiful season “SUMMER” (2D) 約6分

○AOMORI beautiful season “AUTUMN” (2D) 約7分

○青森祭りの魂 (3D) 約6分

○青森祭りの魂 (2D) 約6分

###### ウ 料金

大人650円、中学生・高校生500円、小学生350円

※4月1日より50円値上げ

◆多面的な活用により期待される効果

- ア 観光コンテンツ等のリアルな情報発信により県内周遊促進や、ベイエリアへの誘客拡大
- イ スクリーンを活用し、企業等のフォーラムや製品の発表会を行うなど、地元ニーズにも柔軟に対応
- ウ アスパム・スター・シアターの運営など、アスパム夜間利用の活性化
- エ eスポーツや映画上映会、パブリックビューイングなどへの活用

② 13階展望台情報発信事業

13階展望台では地上51メートルから、青森市街はもちろん、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、360度の眺望を楽しめるが、昨年度に引き続き夜間利用時間の延長等を行い、さらなる魅力アップを図る。

◆夜間営業実施期間：令和2年4月～10月

◆営業時間：9時～21時

③主催イベント展開事業

アスパムの館内外において、県や市町村、観光・物産・産業関連団体、文化施設等と連携し、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントを展開する。

昨年に引き続き、主催イベントの見直しを図り、想定するターゲット別（インバウンド向け・県外客向け・地元向け等）に分類した上で、その客層に向けて、青森ならではの地場産品や地域資源等を活用し、特別な時間や様々な体験、サービスを提供するような「コト消費」を意識したイベントを展開する。また、県内各地域や交通機関、各時期のお祭りや周辺の各種イベント、JR東日本が実施する大人の休日倶楽部パス等とも連動して実施する。

(2) 貸会議室事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出する。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの観光客や外国人観光客に向けて地場産品等を紹介・宣伝し販路拡大とPRを図るとともに、新たに県産酒を店頭で楽しめるブースの新設や多言語による地場産品紹介やスマートフォン決済機能の充実など、利用者の利便性や満足度向上を目指す。

①地場産品等の販路拡大と商品開発等

こだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝するほか、新たな地場産品等に対して消費者の反応や改良点などを確認できるテストマーケティングの場を提供する。

②外国人観光客向けの県産品PR機能の強化

外国人観光客向けに、多言語商品案内アプリ「Payke」等を活用した特設コーナーを設置し、商品情報の発信や認知度向上、さらには外国人の嗜好性が高い商品等のマーケティングを実施するほか、中華圏をはじめとするスマートフォン決済システムを導入し、受入体制の整備を行う。

③昨年度取得した酒類販売免許を活用し、県産酒の販売・PRを行う。

(4)テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供する。

(5)市町村ホール等運営事業

①市町村ホール観光情報発信事業（(公財)青森県市町村振興協会助成事業）

2階市町村ホールでは、観光PR展示パネル等を一新し、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力を多言語でPRするほか、外国人観光客に対し、観光コンシェルジュによる観光案内等を行う。

②郷土芸能等情報発信事業

アスパム1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介する。また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会やねぶた祭りの囃子講習会を実施する。

〔収益事業〕

観光連盟の収益事業は、法人全体の収支を支えるものだが、財務状況の観点からも、収益改善が急務となっている。また「観光連盟イノベーション」を実現するためにも、収益事業のより一層の利用拡大・促進のため、イベントスペース等や貸会議室、駐車場等の営業活動を強化、館内テナントとの連携によるアスパム来訪者への購買意欲や満足度向上のための各種取り組みのほか、アスパム、観光連盟等の運営管理経費削減など、より一層の収益拡大と経営効率化を図る。

## 1 イベントスペース・貸会議室事業

収益の大きな柱となっているアスパム館内貸出事業について、あらゆるスペースを有効活用し、増収を図るため、県内から近県等への幅広い営業活動を行うとともに、利用者の利便性向上の高度化等を行う。

### (1) イベントスペース

土日祝日以外の平日や閑散期の貸出増加に向け、利用者の新規開拓を行うほか、1階エントランスホール及び2階青い森ホール並びに13階展望台等の館内イベント可能スペースの認知度を向上させ、利用拡大を図る。

### (2) 貸会議室

WEB上からの予約申込や空室状況システムが定着しつつあるため、事務処理を含めた更なる高度化を図るとともに、会議室の利用率向上に向け利用の多い業種や新規職種への営業活動を積極的に行う。

## 2 テナント事業

アスパムには、これまで土産品店（5店舗）と飲食店（2店舗）がテナントとして入居していたが、2020年4月より、新たに飲食店1店舗が新規オープンすることとなるなど安定収益の確保に努めている。また、館内テナントとの連携組織である「アスパムしんこう会（テナント会）」において、引き続き、アスパム来訪者の購買意欲や満足度向上のため各種取り組みを積極的に行う。

## 3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの一般駐車場及び大型バス駐車場収入は、収益の大きな柱となっていることから、増収を図るため、利便性・優位性について積極的にPRするとともに近隣のホテル・企業等への駐車場の各種営業や、大型バスの営業についても県内学校団体や県外旅行会社等へ積極的にPRする。

## 4 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を中心に、主催旅行を軸とした旅行商品化を行い、観光連盟ホームページやアスパム内「あおもりグローバルラウンジ」等で販売する。